

猛暑を乗り切る！最新・熱中症対策

建設現場や生コン工場での熱中症対策は、単なるマナーや安全活動を超え、現場の命と施工品質を守る最重要課題です。今月号では、最新の発生データと現場で効果を上げている対策をご紹介します。

1. 建設業は「全業種ワースト」という厳しい現実

厚生労働省の統計によると、職場における熱中症の死傷者数で建設業界は常に上位であり、死亡者数においては全業種の中で例年最多を記録しています。屋外作業特有の直射日光やコンクリートの照り返し、初期症状（めまい等）の我慢による対応の遅れが重篤化を招く大きな要因です。また、一人で倒れた場合の発見の遅れも命取りになります。

2. 人の発症が「工程ストップ・評価低下」に直結

熱中症は作業員の生命を危険にさらすだけでなく、現場の運営にも直撃します。一人でも救急搬送されれば作業は一時停止となり、生コン打設などの時間制限がある作業では、施工不良のリスクが高まります。さらに、労働災害として工事成績評価の減点対象にもなり得るため、発注者・施工者双方にとって極めて大きな痛手となります。

3. 進化する最新グッズと実効性のある運用

こうした危機感から、現場ではハード・ソフト両面での対策が急ピッチで進んでいます。

「水冷服」や「冷却プレート」の導入

風を送るだけでなく、冷水を巡らせたり、ペルチェ素子で直接冷やしたりするウェアが現場で大活躍しています。

バイタルセンサーの活用

スマートウォッチ型端末で、深部体温や心拍数を可視化し、「かくれ脱水」をアラートで未然に防止します。

ルール化の徹底

アラームによる15分ごとの一斉給水や、移動式休憩トレーラーの導入など、強制的に休息を取らせる仕組みが成果を上げています。



熱中症対策の徹底は、施工管理の根幹です。適切な環境を整え、この厳しい夏を安全に乗り切りましょう。



会 計 検 査



『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎(いちかわ けいじろう)氏は昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：JRの水力発電所

新潟県の信濃川沿いに小千谷市というところがあります。闘牛やへぎ蕎麦あるいは長岡市に対抗する大花火などが有名です。先の新潟大地震では大きな被害を受けました。

この小千谷市には旧国鉄時代から、新潟全県から北関東あるいは東北地方一部までを含む地域を管轄する信濃川工事局が置かれていました。工事量もかなり多いことから、検査も毎年入っていました。

また、JRの水力発電所がこの小千谷市にあります。鉄道の電力需要のピークは朝夕のラッシュ時ですから、信濃川から取水した水を夜の間ダムにためておいて朝放流し発電、また日中ためておいて夕方放流し発電をします。JRの首都圏の朝夕の電車の多くがこの電気で動いています。

国鉄からJRに移行する時期に、この地に新たにダムと発電所が増設されることになりました。当時、新規の建設投資はすべてストップされていたのですが、局の某幹部が田中角栄氏に直談判を重ねた結果、北越急行線の建設とセットで実現したといわれています。

ビッグプロジェクトですが、鉄道技術者にとってはダムと発電所の建設は経験のない分野で、試行錯誤の連続でした。会計検査も当然行われました。検査の結果、ダムの止水工事をめぐって工事の積算が過大になっていると検査院は攻め立てました。しかし、JR側は頑として首を縦にせず、検査院の方も決定的な決め手を欠き、この事案は検査報告にはなりませんでした。



数年後、無事に新発電所が完成し、朝夕のラッシュ時に首都圏へ安定的に電気を供給してきたのですが、2009年になって、JRが信濃川から水利権以上の水を取水していたことが発覚。水を管理する国交省はJRに対して取水停止の処分を行いました。(K)



レオ

ちゃんの製品紹介コーナー



◆◇ かんたん側溝（固定蓋タイプ） ◇◆

こんにちは、レオちゃんです♪



今月は、『かんたん側溝（固定蓋タイプ）』をご紹介します！

かんたん側溝は、本体・蓋の種類が豊富なので現場条件にピッタリな製品をお選び頂けます。

歩行者に優しい設計になっており、横断歩道部にはユニバーサルデザインタイプもご用意しています。

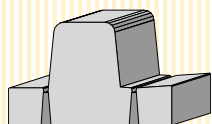
今回は特長と本体・蓋の設置方法・お客様の声をご紹介します。
是非ご検討下さい！



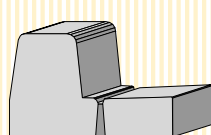
連続スリットで

車道・歩道の両側から集水可能！

縁石一体固定蓋
両面スリット(CTs)タイプ



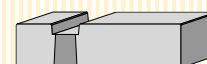
縁石一体固定蓋
片面スリット(COs)タイプ



フラットタイプ固定蓋
スリット(FOs)タイプ



フラットタイプ固定蓋
グレーチング(FOg)タイプ



特 長

そのほかにも様々な規格があります！

縁石一体型には、それぞれにコマ止め・管理孔・乗入タイプを取り揃えています♪



(1) 施工性に優れています！

- ・蓋と側溝が分離施工できるため、現場打ち調整コンクリートの施工も簡単です。
- ・縁石とガッターを一体化した蓋を用いるので工期が短縮されます。
- ・側溝本体、蓋ともに種類が豊富なので、あらゆる条件への対応が可能です。
- ・製品が軽量なので運搬、設置が容易にできます。

(2) 機能性に優れています！

- ・道路勾配に関係なく、水路勾配が自由に付けることができます。
- ・蓋には連続スリットを設け、集水性・排水性を高めました。
- ・下水道の雨水管、排水性舗装用側溝としても最適です。
- ・歩道側、車道側の両側から集水が可能です。
- ・側壁厚を変更することができ、農業用としても利用できます。

(3) 人と環境に配慮しています！

- ・歩道の段差をなくしたユニバーサルデザインです。
- ・スリットを蓋端部に設け、路面に雨水が溜まりにくいです。
- ・自動車の走行による振動・騒音がありません。
- ・蓋上をインターロッキングブロック等で表面舗装して景観性を高めることができます。

(4) 経済性に優れています！

- ・蓋と側溝本体をピン結合とし、剛性を高め部材を薄くしました。
- ・無駄のない最適断面を追求しました。
- ・高強度コンクリートを使用し、軽量化を図りました。



設 置 方 法

本体連結部分



本体設置中

寸切ボルト取付中



CTsV2(乗入用)

蓋設置中

M16の寸切ボルト
(4箇所)で蓋と本体を
固定します。



本体設置完了



施工完了

お 客 様 の 声



工 事 名：県道倉吉東伯線(国府工区)歩道設置工事(3工区)(補助)

工事場所：鳥取県倉吉市

蓋 規 格：縁石一体固定蓋両面スリットグレーチングタイプ(CSg)



寸法・外観共に問題ありませんでした。
施工時、側溝本体の上部が全面オープンになっているためインバートが打ちやすかったです。
乗入部の施工延長が予定よりも伸びたため、急な変更もありましたが、すぐに対応してもらえて助かりました。(S社・T氏)

このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
製品の品質だけでなく、施工のしやすさについても評価いただき、大変嬉しく思います。
急な施工延長にも対応でき、お役に立てたことを嬉しく感じています。
これからも現場の皆様安心してご使用いただける製品づくりと、迅速で柔軟な対応を心掛けてまいります。

●○ 編集後記 ○●



今年も全国で厳しい暑さが続いています。熱中症への警戒が必要な日々が続く中、7月28日には熊本県で震度7を観測する地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

こうした自然災害に接すると、災害はいつ、どこで起こるかわからないものだということを改めて実感します。だからこそ、日頃からの備えが何よりも大切です。非常持出品や備蓄品の確認、ご家族との連絡方法や避難場所の確認など、できることを少しずつ見直しておくことが、自分や大切な人を守ることに繋がります。

まだまだ暑さの厳しい日が続きます。熱中症対策とあわせて、防災への備えについても、この機会にぜひご家庭や職場で話し合ってみてはいかがでしょうか。

(土田)